

# 事業評価表

(平成20年度実施事業)

事業CD. 0103104 - 07100

京 都 府 南 丹 市  
作成日: 平成21年05月11日

事業名	介護支援事業	事業運営方法	<input type="checkbox"/> 直 営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等				所管部署名等
細事業名	地域介護支援事業	委託先	<input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 外郭団体 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 自治会・地縁団体				福 社 部 社 会 福 祉 課 担当: 藤田武久
事業区分	事業分類: (B)ソフト事業    政策体系CD: 148 <input type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 時限事業 (平成 年度迄)		<input type="checkbox"/> その他 ( )				
		関連法令・条例等					

## 【事業の概要】

- ①施策で目指す目標との関連付け  
地域福祉の仕組みを構築し、地域福祉の推進を図る。
- ②事業を実施する必要性  
(サロン・小地域見守りネットワーク)  
人口が急激に増加し市街化が進む地域では、とすれば近隣の住民同士のつながりが希薄になる傾向にあり、特に大規模災害等の有事を想定した時、普段からの見守りや声かけをはじめ、地域での親密な人間関係づくりやその拠点づくりが必要である。一方、高齢化が進む山間過疎地域では、人間関係は比較的親密であるものの、高齢化過疎化ゆえに住民同士の助け合いによるインフォーマルサービス構築の必要性は高い。住民自らによる小地域見守り活動やふれあいサロン活動を通じて、住民自らが福祉課題を克服する仕組みや活動を当該地区に根付かせたい。
- (地域福祉防災活動モデル事業)  
「災害時に自分たちの地域は自分たちで守る」仕組みづくりに地域ぐるみで取り組むことを通して、「誰もが安心して暮らせる災害に強い地域」を作り上げる必要がある。また、取り組みプロセスをモデルケースとして市内に広く紹介し広げていく必要がある。
- ③未実施事項  
地域福祉防災活動モデル事業の自主防災組織の立ち上げ、地域福祉防災マップの作成、災害時活動マニュアルの作成等。

## 【事業費の推移】

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21予算	平22計画
決算額または計画額		千円		7,700	8,880	9,976	9,976
うち一般職、嘱託職、臨時職 給与および共済費等		千円		0	0	0	0
財 源 内 訳	使用料・手数料等	千円		0	0	0	0
	国・府支出金	千円		0	0	0	0
	地 方 債	千円		0	0	0	0
	一 般 財 源	千円		7,700	8,880	9,976	9,976
職員等従事人員		人/年	—	—	0.20		
人 件 費		千円	—	—	1,577		
事業費総額		千円	—	—	10,457		

## 【主な支出の内訳】

地域福祉事業補助金	7,724千円
地域福祉防災モデル事業補助金	1,156千円

## 【近隣市町村の取り組み状況】

--	--

## 【前年度の評価を受けて改善した点等】

--	--

## 【所属長総括評価】

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
地域福祉の推進に向け、社会福祉協議会としての取り組みと行政支援について議論した。
- ②当該事業のアピール事項  
南丹市地域福祉計画の実効性を図るための事業である。  
平成20年度に南丹市社会福祉協議会において、南丹市地域福祉活動指針が策定された。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
南丹市地域福祉計画及び南丹市地域福祉活動指針の具体的な事業として実施する。

# 事業活動記録

平成20年度実施事業

政策体系CD	148	事業名	介護支援事業		
事業CD	103104-07100	細事業名	地域介護支援事業		
所管部局	福祉部	所管課	社会福祉課	担当	藤田 武久

103104-07100

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
ボランティア(全域)養成	<p>●「話し相手(傾聴)ボランティア養成講座」 園部会場:南丹市園部公民館 美山会場:南丹市社協美山支所 相手のところに寄り添って話を聴く「傾聴」という援助方法を学び、お話し相手(傾聴)ボランティアを養成し、現在活動中のお話し相手(傾聴)ボランティアのスキルアップ講座として開催。</p> <p>講座内容 ①「傾聴って?」～お話とワーク～ 京都いのちの電話 研修担当主事 中瀬 真弓 氏 ②《午前》認知症について理解しよう</p>	11月27日(木) 園部① 12月11日(木) 園部② 12月04日(木) 美山① 12月18日(木) 美山②	園部①:21名 園部②:20名 美山①:15名 美山②:14名  本講座を受講された方へ園部町傾聴ボランティア定例会への参加を呼びかけた。定例会当日、10名の出席者があり、ボランティアグループ「お話し相手ボランティアほっと♡ハート」としてグループ化した。今後、個人宅への訪問、デイサービス等施設での活動を行い、毎月1回定例会を開催することとなった。社協として、ボランティア活動とニーズとのマッチングのルール等をボランティアと一緒に検討し、活動の充実を図っていきたい。
福祉(全教域)	<p>●福祉でまちづくり事業 京都府社協事業も活用し、福祉教育事業として活動。 1年目(昨年度)は、ハンディキャップの有無、また、年齢に関係なく「みんなが楽しめる出会いの場(つどい)」作りをテーマに一つの行事の企画・実施を通して、「つながり」作りに取り組む。 2年目(今年度)は、昨年度築いた「つながり」をもとに、話し合いをすすめ、その中で、地域の課題発見や、解決に結びつく方法等を考え、メンバー(高校生や当日参加の作業所メンバー等)で、実際に「何がしたいか」「どんなことをすればいいか」を企画に結びつけ、事業</p>	※左記	2年目として、昨年度から活動に参加している学生ボランティア、作業所メンバーとの関係も構築され、回数を重ねるごとに積極的な取り組み姿勢が顕著に見られるようになった。 また、ボランティアや福祉委員、小さい子ども連れのお母さんなど、参加者の輪が少しずつ広がってきている。
広報(全域)	●『なんたん社協だより』(4号)の発行 南丹市内全戸配布	07月	福祉に関するさまざまな情報を市民にお届けした。
広報(園部)	●『きずな』(年7回)の発行 園部町内全戸配布  季節に応じた活動内容のお知らせ 参加者を募る事業案内 介護者の身近な質問に答えるQ&A 各種募金活動の啓発 ボランティア活動の紹介や募集 他	05月・07月・08月・10月・01月・02月・03月	事業の申込等やボランティア活動の問い合わせ等により市内地域福祉事業の推進に役立っている。住民にわかりやすく説明することを心がけている。
サロン(園部)活動支援	●ふれあいいいききサロン活動  園部町内:35地域51サロン  サロン活動への助成やレクリエーション用品の貸し出しなどにより活動を支援する。 サロンでの会話の中から、困りごとなどの相談があり、地域課題やニーズ把握にもつなげている。	通年	地域住民がいいききと地域で生活できるような活動となるように助成している。  年間のべ活動回数:326回  サロン活動助成:416,100円

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
高齢者支援 (園部)	●「男の料理講習会」(年2回) ひとり暮らし男性(高齢者)の方を対象に簡単で作りやすいメニューを、給食ボランティアが講師になって、一緒に調理する。バランスのとれた食事をとって健康な生活を送るために実施する。	07月・08月	初めて包丁をもたれた方などの参加もあった。 でき合いのものですませるより、楽しく簡単に料理するようにやっていたいとの感想もあった。
	●「ひとり暮らし高齢者のつどい」 民生児童委員と共同で開催。ひとり暮らし高齢者同士の交流を通じて、互いに助け合いの輪を広げ、健康で明るい社会参加を目的に実施。	10月	ボランティアや商店街の青年部のみなさんにお世話になり、集いを盛り上げていただいて、参加者から好評である。 互いに会話がはずみ、とても楽しんでもらっている。
ボランティア支援 (園部)活動	●ふれあい型給食へのボランティア活動支援 年間8回、年間のべ696食	04月・05月・06月・09月・11月・01月・02月・03月	ボランティアの心のこもったお弁当や包み紙やお誕生日のプレゼントなどもあわせて、利用者には大変喜ばれている。
	●給食ボランティア「衛生講習会」 給食ボランティアにふれあい型の給食調理にあたり、保健所より講師を迎えて、食中毒予防を中心に講習会を実施。	06月	実際に手洗いの基本から初めるなど、講習会を開催したことで、あらためて調理において清潔を保つことの大切さを確認した。
	●ボランティアコーディネートおよび活動支援 ボランティア20グループ	通年	地域の敬老会や施設の催しなどにボランティアを紹介し派遣する。
ボランティア養成 (園部)	●車いす講習会 こひつじの苑より講師を迎え、同施設利用者との交流を通じて、障がい者や高齢者への理解を深め、車いすの取り扱い講習を実施。 ボランティアの養成を目的に開催。	03月	ボランティアの養成はもとより、障がい者や高齢者への理解を深めていただいた。 車いすを正しく取り扱わないとけがをすることや、安全に走行する方法を指導していただいた。
その他 (園部)	●権利擁護事業(園部町内の利用者:20人)	通年	認知症や障害のある方の日常生活を支援する。
	●視覚障害者支援 利用者:8人、各支所4箇所(京丹波町を含む)点字京都・広報なんたん・わいわいだより・声の広報厚生などを、「音」で毎月届ける。	通年	リスナーに行政の広報などを朗読して吹き込んだテープをダビングして送付。

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
小地域見守りネットワーク活動 (八木)	<p>●新任福祉委員研修会 (会場:南丹市社協 八木支所 介護研修室)</p> <p>新しく地域の福祉委員として活動をしていただく方に委嘱状と身分証の交付を行い、福祉委員活動や介護保険事業および介護予防サービス事業、サロン活動などの説明を行う。</p>	04月19日(土) 10:00～ 04月22日(火) 19:30～	参加者24名 参加者22名
	<p>●ふれあいネットワークブロック会議 南地区Aブロック(本町1～6丁目) 南地区Bブロック(栄町1・3丁目、本郷) 南地区Cブロック(栄町2丁目、垣内、柴山) 東地区Aブロック(北屋賀、屋賀上) 東地区Bブロック(西田、井の尻、青戸、観音寺) 東地区Cブロック(日置、氷所、刑部、北広瀬) 西地区Aブロック(八木嶋、南広瀬、大藪、折戸) 西地区Bブロック(鳥羽、玉の井、美里、室河原、木原、池ノ内) 北地区ブロック(室橋、船枝、山室、諸畑、野条、池上) 神吉地区ブロック(神吉上、下、和田)</p>	各ブロック年間5回開催  見守り活動の情報交換に加え、下記の協議を行った。 05月 役員決め、NW活動説明 07月 ふれあい事業について 09月 ふくしまつりについて他 11月 ふれあい事業反省他 02月 NW活動の反省他	地域の見守り活動を通して、住民同士の関係づくりができた。 地域における様々な情報の把握ができ、サービスの提供につながることもある。
	<p>●ふれあいネットワーク代表者会議</p> <p>各ブロックの代表者がブロック会議で出された福祉ニーズ、地域での困りごと等の情報交換や町域での取り組みを協議したりする。地域の福祉力向上のための「地域福祉研修会」の立案なども行う。</p>	年間5回開催(ブロック会議と交互月に開催) 06月・08月・10月・01月・03月	各地域(ブロック)からの情報をもとに、地域課題やニーズの把握等ができ、町域レベルでの取り組みの検討や、具体的にサービスの提供につながったケースもある。
	<p>●ふれあい事業</p> <p>それぞれの地域で住民同士のつながりづくりを目的に、ブロックごとに年1回以上開催</p>	10月～11月の期間にブロックごとに開催	地域住民が当事業を通して、楽しく1日を過ごすことができ、地域住民同士のつながりづくりの一助となった。
	<p>●地域福祉研修会 (会場:南丹市八木公民館 3階 大集会室)</p> <p>今年度は、南丹市出前講座を活用し、「高齢者福祉サービスについて」、「長寿医療制度及び南丹市福祉医療制度について」、「地域防災対策について」の講演を行った。</p>	01月31日(土)	参加者80名  福祉に関する制度やサービス、および地域住民自らが防災についての意識を高め、積極的に取り組みを進めることの重要性をあらためて認識できた。
	サロン活動支援 (八木)	<p>●ふれあいいいききサロン活動</p> <p>8サロン 気楽会(本町1)、そよ風(本町2・3・4)、 さくら(本町5・6)、にこにこ会(栄町2・垣内・柴山)、 ほのぼの会(栄町3)、ひまわり(本郷東)、西田、刑部</p>	サロンにより 月1回または隔月開催
<p>●サロン協力者研修会</p> <p>①西地区(西地区自治振興会館) ②北地区(北地区自治振興会館) ③神吉地区(神吉公民館)</p> <p>サロン活動に関する説明や、協力者の取り組み事例の紹介などを行い、サロン活動の充実と、普及啓発を目指す。</p>		①02月18日(水) 13:30～ ②03月16日(月) 13:30～ ③03月24日(火) 13:30～	①参加者25名 ②参加者15名 ③参加者10名  この研修により、新しくサロンが立ち上がるきっかけになった。

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
広報啓発活動 (八木)	●『やぎの風』(年12回)の発行 八木町内全戸配布  季節に応じた活動内容のお知らせ 参加者を募る事業案内 各種募金活動の啓発 ボランティア活動の紹介や募集 他	毎月	毎月の広報活動を行うことにより、事業開催のお知らせや実施報告を行い、地域に根ざした福祉活動の情報提供を行うことができた。
福祉教育 (八木)	●各学校の福祉への取り組み支援 八木小学校(4年)、富本小学校(4・6年)、 神吉小学校、園部第二小学校(4年)	随時	車いす体験やデイスサービスでの交流を通して、子どもたちの福祉への関心が高まった。
ボランティア支援 (八木)	●八木町ボランティア連絡協議会の運営支援	通年	町内ボランティアグループの連携により地域福祉の向上を目的に会の運営を支援した。
	●ふれあい型給食へのボランティア活動支援 年間12回、年間のべ720食	毎月	ボランティアの心のこもった給食や毎回の手紙などもあわせて、利用者には大変喜ばれている。
	●ボランティアコーディネーターおよび活動支援  ボランティア活動需給コーディネーター ボランティア保険加入支援 など	通年	ボランティア活動振興へのサポートを積極的に行った。 後継者不足が課題である。
その他 (八木)	●福祉講演会「誰もが地域で暮らす安心のために」 京都太陽の園 常務理事 徳川 輝久 氏	3月28日(土)AM10:00～	参加者30名  参加者より「心温まるお話に良い講演でした」との感想もいただいた。
	●車両貸出  各種団体が公的会議等に参加するために、貸出用10人乗車両を利用していただいた。	通年	主な貸出先 身障協会八木支部、 京都府視覚障害者協会、 難聴者の会、 介護者(家族)の会 他
ボランティア支援 (日吉)	●「第13回 ふれあい福祉まつり」への支援  日吉町ボランティア連絡協議会主催で、住民どうしのふれあいを進めることを目的に開催。準備、運営を支援する。模擬店・障害者施設の出店、バザーの開催、ビデオ上映会、ビンゴ大会を実施する。	03月22日(日)	参加者200名 運営協力スタッフ74名  準備から運営において、会員や住民相互の協力関係が推進された。 まつり参加には介助者とともに来場された高齢者や障がい者の参加により、住民同士の関係作りが進んだ。
	●日吉町ボランティア連絡協議会の運営支援  町内ボランティアグループの連携により地域福祉の向上を目的に会の運営を支援する。	通年	本部役員会:6回 役員8名 による 代表者会:3回 29グループ 個人登録13名 による 総会・講演会(07月17日) 会員研修旅行:神戸・防災センター 下見(04月05日) 実施(06月05日)67名

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
サロン活動 (日吉)	<p>●ふれあいいきいきサロン活動 殿田サロン、木住サロン、生畑サロン、中世木サロン、下田原サロン、四ツ谷サロン、東谷サロン、佐々江サロン、上保野田サロンひなぎく、下保野田サロン、志和賀サロン、東胡麻サロン、西胡麻サロン、日吉平サロン、上胡麻サロン、広野サロン、畑郷サロン</p> <p>必要に応じて、開催案内チラシやサロン資料の作成と印刷、および開催運営会議において助言を行う。</p>	通年	21ヶ所17サロン:のべ89回実施のべ参加者:1,890人
小地域見守りネットワーク活動 (日吉)	<p>●小地域見守りネットワーク活動</p> <p>民生児童委員と福祉委員を中心に、ひとりぐらし高齢者・高齢者世帯・障害者等の見守り・訪問活動により、安否確認等をおこなう。</p>	毎月15日を「あんしんあんぜんの日」として、運動を展開。	毎月啓発チラシを作成し、時期に応じた注意を呼びかけたり(防火、食中毒注意、振り込め詐欺予防など)、訪問時に話を聞き、生活課題やニーズの把握を行った。
	<p>●福祉委員研修</p> <p>福祉委員の役割、活動内容の説明をおこなう。</p>	04月18日(金)	福祉委員31名
	<p>●地域福祉懇談会の実施</p> <p>民生児童委員と福祉委員の合同による小地域見守りネットワーク活動について意見交換をおこなう。</p>	04月18日(金)	民生児童委員:22名 主任児童委員:2名 福祉委員:31名 地域の福祉対象者の情報交換や、活動方針の確認を行った。
福祉教育 (日吉)	<p>●しめ縄づくり体験事業</p> <p>地域に伝わるしめ飾りの作り方や言われの伝承と、70歳以上の一人暮らし高齢者のうち希望者に贈るしめ飾りを作る。</p>	12月17日(水) 12月24日(水)	参加者:22名 しめ飾り:67個  体験を通して参加者どうしの交流ができた。 しめ飾りの配布は年末に民生委員や福祉委員が中心となって届けた。
子育て支援 (日吉)	<p>●「ママハウス」の開催支援</p> <p>ボランティアにより子育て中の親の仲間作り・情報交換・ストレス解消の場として、開設・運営。 就学前の乳幼児とその親が登録により参加。</p>	毎月第1・第3木曜日	殿田交流センター 年間20回 のべ参加者215人
広報啓発 (日吉・美山)	<p>●『福祉かわら版(北部版)』の発行</p> <p>日吉・美山に全戸配布 地域福祉活動・ボランティア活動の紹介参加案内など、広く住民に理解と協力呼びかけを発信する。 社協の役割や活動内容もあわせて紹介。</p>	毎月15日第4金曜日発行	毎月 日吉:2200部 美山:2100部  北部圏域で合同発行したことにより、相互に参加協力が生まれた。
高齢者支援 (日吉・美山)	<p>●「ひとり暮らし高齢者のつどい」</p> <p>日吉町のひとり暮らし高齢者と、美山町のひとり暮らし高齢者の会「ひまわり会」との合同実施。 会食と観光を通して、参加者相互の交流を図る。</p>	10月31日(金)	福井県若狭町・三方五湖 遊覧船観光、会食  参加者 日吉:30名、美山:42名 民生児童委員も参加。

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
その他 (日吉)	●リサイクルマーケット宝島の実施 ひよし水の杜フェスタにおいて、家庭の不用品・手作り品の出品により、市内外の交流を図る。	10月26日(日)	30店の出店。
サロン (日吉) 活動	●サロン代表者会議 サロン代表者を対象に交流会を実施。 各サロンの活動状況などについての情報交換や、サロン助成についての説明を行った。	05月29日(木)	参加者:28名
福(美山) 社(美山) 教(美山) 育(美山)	●ワークキャンプへの協力 京都、神戸、大阪などからの学生ボランティアを受け入れ、美山町知井地区の「限界集落」等でボランティア活動を実施。 地元住民との共同作業や交流を通して、地域課題などについての学習もした。	09月04日(木) ～07日(日) 11月14日(金) ～16日(日) 02月15日(日) ～21日(土)	参加者:のべ68名 主催 京都ボランティア学習実践研究会
ボラ支 援テ(美山) ィ(美山) 活(美山) 動(美山)	●緊急除雪支援ボランティアへの協力 01月10日～15日の集中降雪にともない、知井振興会からの要請を受けて緊急に除雪支援ボランティアを募集した。 知見、佐々里集落の高齢者宅の除雪支援を行った。	01月18日(日) 01月24日(土) 01月25日(日)	参加者:のべ50名 主催 知井振興会
子育て 支援 (美山)	●子育て支援「絵を描く会」への協力 乳幼児を対象に、自由に絵を描く会を開催。 あわせて、託児付カフェを設けて保護者のリフレッシュを図った。講師による子育て相談(懇談)も実施。	03月20日(金)	参加者 乳幼児39名とその保護者 講師 風の子共同保育所(綾部) 主催 みやま子育てパートナーズよっといで
地域 短	●地域福祉防災モデル事業 職員調整会議 事業の要項確認 モデル地区候補の選定 モデル地区調整事項協議 活動内容の協議 事業進捗状況の確認 など	04月:2回 05月:1回 以後担当者間で随時	主な出席者 市役所 社会福祉課 課長・課長補佐・担当者 八木支所・美山支所 健康福祉課長 市社協 事務局長、管理部長、 地域福祉事業課:課長・係長 事業実施要項を確認するとともに、
	●地域福祉防災モデル事業 モデル地区調整 モデル地区指定の承諾と、事業実施要綱の説明を行う。	04月18日(金) 八木町南地区自治会 05月13日(水) 宮島地区振興会	社会福祉課長 八木支所健康福祉課長 社協管理部長 美山支所健康福祉課長

区分 地域福祉 防災モデル 事業	活動内容	活動日または時期	活動結果
	<p>●地域福祉防災モデル事業 災害図上演習(DIG)学習会 (市役所本庁2号庁舎 3階会議室) 講師:京都府社協 菊本 隆博 氏</p> <p>地域防災活動を始めるに当たって有用とされる災害図上演習(DIG)の手法について学習し、実際に八木・美山町の地図を用いて風水害想定を図上演習を行った。</p>	<p>05月29日(木) 講師との打合せ 06月12日(木) 学習会</p>	<p>美山町振興会役員 市役所職員 市社協職員</p>
	<p>●地域福祉防災モデル事業 避難訓練</p> <p>南丹市総合防災訓練の一環として各地域において避難訓練が実施された。 合わせて、地元消防団等の協力により、初期消火活動講習会(消火器・消火栓取扱説明会)等の取り組みも行われた。</p>	<p>11月16日(日)</p>	<p>八木町南地区 美山町宮島地区</p>
	<p>●地域福祉防災モデル事業 八木町南地区防災リーダー研修会 (南丹市八木公民館 3階 大集会室) 講師:NPO法人みえ防災市民会議 南部 美智代 氏</p> <p>災害図上演習(DIG)の手法について学習し、実際に八木町南地区の地図を用いて、大規模地震想定を図上演習を行った。</p>	<p>02月22日(日)</p>	<p>参加者計:54名 自治会新旧役員:14名 新旧区長:16名 地元消防団役員:7名 地元交番警察官:2名 地元消防署出張所消防官:2名 市役所職員:5名 市社協役員:8名</p>
地域福祉活動計画の策定	<p>●企画委員会の開催</p> <p>地域福祉活動計画立案について旧町エリアごとに協議したことをふまえて市域全体で協議</p>	<p>年6回</p>	<p>委員数8名</p> <p>地域福祉活動計画の市域全体の活動計画を立案し、意見集約した。</p>
	<p>●企画小委員会の開催</p> <p>地域福祉活動計画立案について旧町エリアごとに協議</p>	<p>園部:年3回 八木:年5回 日吉:年6回 美山:年4回 合同会議:年1回</p>	<p>各小委員会委員数8名</p> <p>地域福祉活動計画の旧町域の活動計画を立案し、意見集約した。</p>
	<p>●地域福祉活動計画策定 職員プロジェクト会議</p> <p>『地域福祉活動指針「なんたんふれあいプラン」』の策定実務を行った。</p>	<p>年20回</p>	<p>社協職員13名 アドバイザー 大谷大学 志藤修史 准教授</p> <p>企画委員会・小委員会の意見を集約し、計画策定実務を遂行した。</p>